



# 桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和4（2022）年8月30日 第6号

文責：校長 佐藤 正貴

前期後半が始まりました。

8月26日（金）から前期後半がスタートしました。朝から子どもたちが登校する姿を久しぶりに見ながら、始まりの会でどんな話をしようかと考えました。登校している子どもたちの表情を見ていると明るく元気な挨拶をする子もいれば、どこか表情が硬く挨拶も小さい声の子もいました。その表情から、充実した夏休みを過ごせた子もいれば、計画通りにいかずに不安な気持ちを抱えてきている子もいるのだと感じました。

そこで前期後半始まりの会では、「計画通りにいかなかったこと、宿題など完全にできなかったことはだめな事ではない」という話をしました。勿論、やるべき事をやり遂げる力を付けてほしいとは思いますが、まだ6年生でも12歳です。むしろ、できる子どもの方が少ないと思います。だからと言って「子どもだから、まっ、いいか」で済ますことはよくありません。私が伝えたかったことは、「できなかった理由を考えること。その改善策を自分なりに考えてこれからの生活に生かす力を付けてほしい。」ということです。過去の自分を悔やむのではなく、きちんと振り返ることが大切です。できない自分の姿を積み重ねても、気持ちは沈んでいくだけです。過去の自分を振り返り、これからの生活を工夫して、小さくていいので、できることを増やして行ってほしいということを伝えました。

そうした努力の積み重ねは、きっと子どもたちの将来につながっていきます。子どもたちの小さな変化を見逃さない、しっかりと認めることができる大人でありたいと思いながら話をしました。

私は教職について30年近くなりますが、夏休みになると昔も今も同じように言われることが「先生達は、夏休みがあっていいですね」です。勿論、子どもが登校しないだけで、仕事は通常通りに行っています。休みを取るときは有給休暇を取得しています。授業日の場合は、授業実施や授業準備が主な仕事ですが、夏休み期間中は、十分な時間を確保した計画的な研修も重要な職務となるため、今年もいくつもの研修を行いました。例えば、人権教育の研修については、7月28日に荒尾市立清里小学校の 森山 資典 校長先生を講師にお招きして約2時間の講話と質疑を行いました。先生自身がこれまで学んで来られたことや体験を通して考えられたことを、我々にわかりやすく話をしていただきました。この研修の目的は、我々の人権感覚、人権意識の向上を図ることにあります。



本校は若手からベテランまで広い年齢層で職員構成がなされています。教職経験年数やこれまでの学んできたことの違いなどは、直接子どもたちへの対応に影響します。その格差を補うために、チームで対応する組織づくりを進めると共に職員個々の資質・能力を向上させる必要があります。学び続ける機会を確保しながら、子どもたちの成長の手助けになるような指導力、対応力を磨いていきたいと思っております。

## 9月行事予定

1日（木）3年身体測定  
至心会役員例会  
2日（金）教育実習開始～29日  
2年身体測定  
5日（月）1年身体測定  
6日（火）5年振替休業  
7日（水）5年生下校・・・13：20

8日（木）5年生下校・・・13：20  
9日（金）水俣に学ぶ肥後っ子教室  
集団宿泊教室～10日（土）  
13日（火）委員会活動・・・6校時  
15日（木）メディアコントロールデー  
20日（火）クラブ活動・・・6校時  
28日（水）集金日

29・30日は、学期末事務整理のため全学年4時間授業後、給食、13：45下校となります。